鳥取県倉吉市

中心市街地活性化基本計画概要（案）

【3期計画：令和7年4月～令和12年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

美術館のある新たなまちの市街地活性

～歴史とアートを巡る賑わい創出～

【自治体の概要】 人口：43,878人（R6.4.1・住民基本台帳）、面積：272.06㎢

・室町後期、地元の国人南条氏によって本格的な城下町が形成。江戸時代、池田藩の家老の陣屋町として明治維新まで職人、商人の町として発展。
・美しい日本の歴史風土100 選に選定された伯耆国の国庁跡、国分寺跡、陣屋町、倉吉の街並みがあり、白壁土蔵群・赤瓦周辺の街並みは重要伝統的建造物群保存地区に選定。平成17年に東伯郡関金町を編入合併。

【中心市街地の課題等】

〇人口減少及びコミュニティの衰退

生産年齢人口の減少による地域経済活力の低下、高齢者増加にともなう地域の共助力・防災力の弱体化への対策が必要

※社会増減数　H27～H31：△177人→ R2～R6：△25人

〇観光来街者数の伸び悩み

観光等による来訪者数も伸び悩む傾向にあり、従来からの観光施設及び新たに整備した施設の双方連携による集客及び周遊策が必要

※観光入込客数　H30：383,300人→ R5：304,900人

〇地域の担い手となる新規創業者の確保

中心市街地の商業機能、サービス産業の停滞、また、増加する空き家や空き店舗による防災・防犯上の問題への対策が必要

※新規創業者数　H27～H30：6.8件／年→ R2～R5：10.5件／年

【中心市街地活性化の方針】

【街なか居住の推進】積極的に住みたくなる暮らしの賑わい再生を目指すまち

生活環境の整備、移住定住支援、多様な主体が支え合う環境づくりを行うことで、市外や県外からも魅力を感じて新たな移住者・定住者が増え続けるような生活環境を備えたまちを目指す。

➡目標：【人口の社会増減】　全11事業

【賑わい創出】歴史的資源とアートを活かし観光機能の向上を目指すまち

観光客がゆっくりと周遊・滞在し、倉吉ならではの歴史的資源・文化や芸術を体験し楽しめる環境を整備し、インバウンドを含めた観光入込客数や宿泊者数の増加及び消費の拡大へとつながるまちを目指す。

➡目標：【観光入込客数】　全27事業

【経済力向上】多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち

産業・経済活動の健全な維持・継承を図るとともに、将来の倉吉の産業・経済の高付加価値化や独自性の確立へとつながる新たな息吹とするため、新たな事業活動等の起業、誘致を推進するまちを目指す。

➡目標：【創業事業所数】　全12事業

【第3期計画目標と数値】

目　標	目標指標	基準値（実績）	推計値	目標値
積極的に住みたくなる暮らしの賑わい再生を目指すまち	中心市街地全体の人口の社会増減（人）※年	△25人（R2-R6）	△25人（R8-R12）	＋90人（R8-R12）
歴史的資源とアートを活かし観光機能の向上を目指すまち	中心市街地主要12施設における観光入込客数　（人）※年	866, 300人（R5）	866,300人（R11）	1,280,000人（R11）
多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち	中心市街地における創業事業所数（件／年）※年度	平均10. 5件／年（R2-R5）	平均10. 5件／年（R7-R11）	平均15件／年（R7-R11）

【第2期計画目標と数値】

目標指標	基準値（実績）	目標値	直近の実績
中心市街地全体の人口の社会増減（人）	△177人（H27-H31）	±0人（R3-R7）	△25人（R2-R6）
中心市街地主要6施設の観光入込客数（人）	383, 300人（H30）	421, 400人（R6）	304, 900人（R5）
中心市街地における創業事業所数（件／年）	平均6. 8件（H27-H30）	平均10件（R2-R6）	平均10. 5件（R2-R5）

6施設
円形劇場（H30~）
倉吉博物館
なしっこ館
赤瓦一号館
倉吉淀屋
ふるさと物産館（~R2）
ふるさと工芸館（R3~）

12施設：円形劇場、倉吉博物館、なしっこ館、赤瓦一号館、ふるさと工芸館、白壁土蔵群・赤瓦（カウント）、赤瓦観光案内所、エキパル観光案内所、琴櫻記念館、打吹回廊、清水庵、鳥取県立美術館（R7～）

倉吉市中心市街地活性化基本計画（案）の事業概要

積極的に住みたくなる暮らしの賑わい再生を目指すまち

①鳥取県立美術館活用事業
鳥取県立美術館に併設のホールやギャラリー等を活用し、各種交流イベント等を行う。

②くらしよし居住環境整備事業
旧工場跡地を活用し医食住に関わる施設の整備を行い高齢者をはじめとする地域住民にとって便利な生活環境を提供。

③打吹回廊活用事業
商店街活性化拠点を活用し商店街及び地域関係者の協働により多彩なコミュニティイベントを開催し地域の魅力の向上を図る。

④空き家活用サポートセンター事業
空き家、空き店舗に関する様々なニーズに対応するため分野横断的な専門家で構成される組織を立ち上げ、ワンストップ相談窓口、各種支援制度の情報発信等を行い、移住定住の促進を図る。

歴史的資源とアートを活かし観光機能の向上を目指すまち

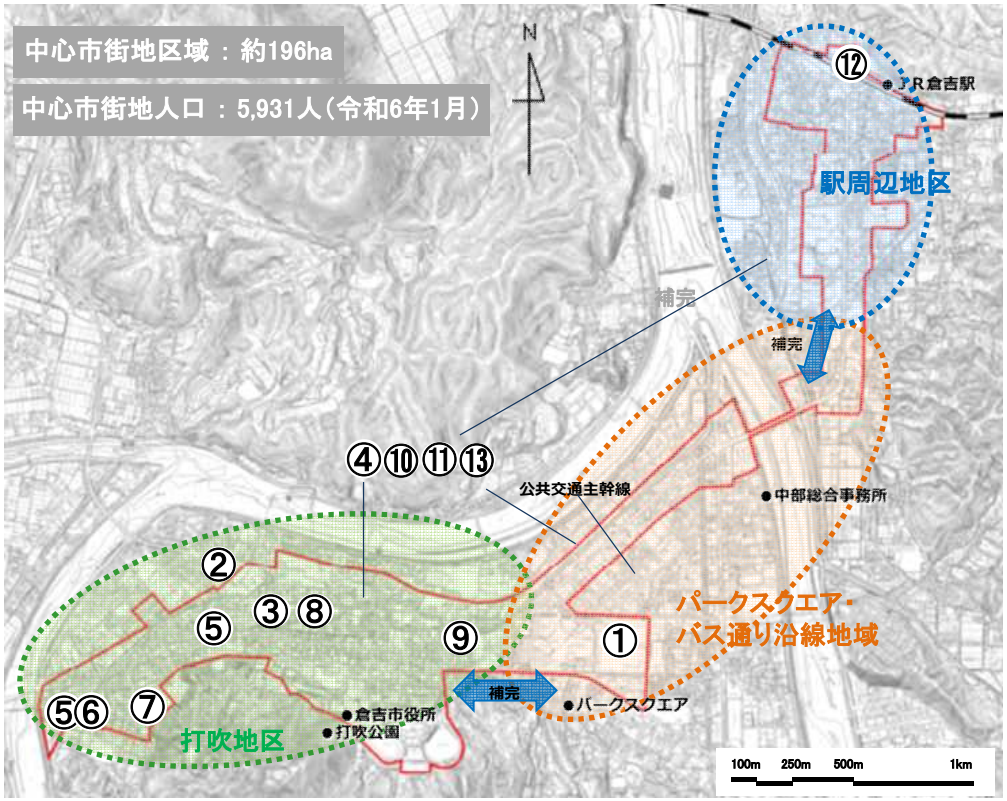
⑤小川家庭園・倉吉淀屋活用事業
修理復元を行った歴史的資源（小川家庭園や倉吉淀屋）を活用した観光イベント等を実施する。

⑥倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業
中心市街地に位置する古民家、旧店舗といった歴史的資源を活用し、地域の観光、宿泊拠点を整備する。

⑦円形劇場くらよしﾌｨｷﾞｭｱﾐｭｰｼﾞｱﾑ活用事業
国内現存最古の円形校舎を活用し整備したﾌｨｷﾞｭｱﾐｭｰｼﾞｱﾑにおいて地域と連携した各種集客イベントを実施する。

⑧ポップカルチャーによる観光客等誘致促進事業
本市と誘致企業、更には本市に縁のあるコンテンツを有する企業等の協力の下、地域が元来持つ観光資源と、互いの素材を最大限活用した新たな魅力づくりによる観光客の誘客を行う。

⑨周遊滞在型観光地モビリティ事業
観光拠点を接続するループバスやグリーンスローモビリティを導入し、エリア一体での観光客の周遊・滞在を促す。



多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち

⑩既存ストック活用起業推進地域連携事業
まちづくり会社、地元商店街が連携し、空き店舗や空き地を整備し、新規出店を促進する。

⑪地域の暮らしを支える商店街づくり事業
高齢者にも暮らしやすい居住環境を形成するため商店街の空き店舗を利用した日常生活を支える店舗を設置する。

⑫地域住民学生向け商業複合施設整備事業
倉吉駅を利用する地域住民・学生の利便性を考慮した店舗展開、商品構成とした商業複合施設の整備を行う。

⑬サテライトオフィス誘致事業
市内に不足している職種（事務・企画・デザイン・IT等）のサテライトオフィスを誘致することで、若者の希望する職種の確保を目指す。